

令和6年度清水二中グループ教育構想（グランドデザイン）

静岡市の目指す子どもたちの姿
たくましく しなやかな 子どもたち

視点1

学校教育目標

かしこく

やさしく

たくましく

～めあてと見通しをもち、ひたむきに学び続ける児童生徒～

～自他のよさを認め、自ら周りに働きかけていく児童生徒～

～自他のいのちを大切に、心と体を進んで鍛える児童生徒～

重点目標

（清水二中）本気の挑戦

（清水浜田小）おもいをかたちに

（清水岡小）進んでやろう

みんなでやろう

（清水船越小）一歩

踏み出す子

軸となる
取組

ユニバーサルデザイン

（過ごしやすい、学びやすい環境づくり）

防災

（今、ここ、この瞬間を大切に生き抜く）
—生活・探究的な見方・考え方を働かせて学ぶ—

教育課程・学校評価部
（主幹・教務連絡会）

授業・環境UD部
（教科・ICT）

特別支援教育
UD部

地域防災協働部
（教頭連絡会）

生徒指導・健康安全部

防災カリキュ
ラム部

特別活動部

視点2

9年間の連続性・系統性のある教育課程

- ・9年間を貫く教科カリキュラムの実施
- ・授業・環境UDの取組の共有
- ・個別の支援教育計画の小中間の継続的活用
- ・別室登校等対応含む多様な学習ニーズへの対応
（UDL研修と実践の試み）

- ・「今、ここ、この瞬間を大切に生き抜く」資質・能力を育む9年間の「防災」の学びの足跡の作成
- ・道徳・学活等の「防災学習」実践の試み
- ・子供の主体的な活動でつくる各校の特色を生かした特別活動

視点3

子ども同士の交流、教職員の協働

- ・小中一貫教育研修会の実施
- ・他校の授業や行事の参観
- ・CSの取組での協働

- ・ICTを活用したりリモート授業等による交流
- ・メディアチャレンジや学校保健委員会の協同実施

- ・児童会・生徒会活動連携による「あいさつ運動」などの子供主体の取組の実施
- ・スタカリ（架け橋プラン）へつながる幼保小交流

視点4

小中一貫教育運営協議会

地域との連携・協働

～地域を知り、地域を愛し、地域に貢献できる人材の育成～

- ・地域に開かれた教育課程の実現
- ・地域防災訓練等、地域行事への小中学生の参加・協働
- ・地域の教育資源（ひと、もの、こと）の積極的な活用